

オーストラリア・ エコツーリズムの現状

GOGO TOURS PTY. LTD. 上田 豪

GOGO TOURS PTY. LTD.

- 1999年に、メルボルンを基点とする現地ツアーオペレーターとして創立
- 以来、日本人向けエコツアーを企画・運営
- 年間平均約820人のエコツアーを催行
- 2006年に、日本人経営のツアーとしては初めて、オーストラリア・エコツーリズム協会の認定を受ける
- エコツーリズムの教育プログラムの企画・運営も行っている

オーストラリア・ エコツーリズムの現状

- オーストラリア国内のエコツーリズム事情
- エコツーリズム・オーストラリア - 事例①
- エコツーリズム研修プログラム - 事例②
- まとめ

オーストラリア・エコツーリズム事情

インバウンド・マーケット

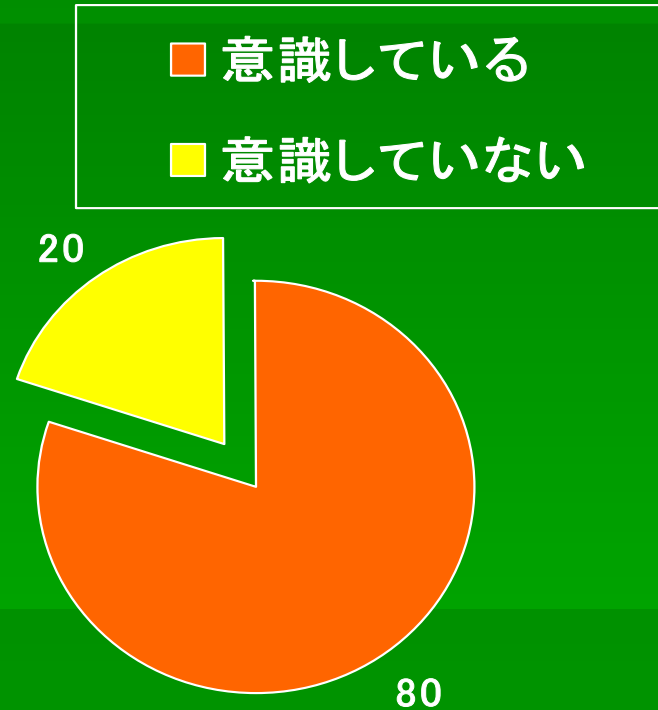
- 350万人の海外からの旅行者が、自然関連のアクティビティに参加している
- 最も多くの自然に関連するアクティビティに参加するのが、ドイツからの観光客(ドイツ観光客全体の58%)。また、最も少ないのがニュージーランドからの観光客(ニュージーランド観光客全体の10%)。
- 海外旅行者の自然に関連するアクティビティのベスト3:
 - 国立・州立公園を訪れる
 - 動物保護区・ワイルドライフパークを訪れる
 - 植物園を訪れる

オーストラリア・エコツーリズム事情

国内旅行マーケット

- 1998年で、国内旅行者の約80%がエコツーリズムを認識している(クィーンズランド州観光局調べ)
- 156万人の旅行者が、自然関連のアクティビティーに参加している(国内旅行者全体の21%)。
- その内、65%の旅行者が、2つ以上の自然関連のアクティビティーに参加している。
- 国内旅行者の自然に関連するアクティビティーのベスト3:
 - ハイキング・トレッキング
 - 国立・州立公園に訪れる
 - 植物園に訪れる

オーストラリア・エコツーリズム事情



エコツーリズムの意識調査

1998年クィーンズランド州観光局調べ

オーストラリア・エコツーリズム事情


- オーストラリアは、国としてエコツーリズム計画を早くから進めた国のひとつ
- 連邦観光省が、1994年に「国家エコツーリズム戦略」を発表
- 現在、2,935のエコツーリズム・ツアーオペレーターが存在(エコツーリズム・オーストラリア調べ)
- 自然保護のボランティア活動とツアーが融合し始めている

事例① エコツーリズム・オーストラリア

- 1991年に業界団体(非営利団体)として設立
- 現在、オーストラリアのエコツーリズムの指導的立場
- 国内900のエコツーリズム・オペレーターが加盟
- 世界初のエコツーリズム認証制度 を開発・運営

エコツーリズム認証プログラム

- 現在、国内に2つのエコツーリズム認証プログラムがある

1. エコツーリズム・オーストラリア 
2. EC3グローバル（エコツーリズム・オーストラリア の認証システムを元に作成）



エコツーリズム認証システム

- 関連の施設・サービスに対しての認証
- 書類審査 & 定期的な無作為の監査
- 3つのレベルで認証
 - ネイチャーツーリズム
 - エコツーリズム
 - 上級エコツーリズム

The 'eco-tick' assurance for:

- ✓ Operators
- ✓ Local Communities
- ✓ Protected Area Managers
- ✓ Travellers



エコツーリズム認証システムのメリット

- サービス・商品の質・内容を判断できる手
がかり
- 環境保護の計画・実践・検証の手引きを示
す事が可能
- 環境保護の基準を示す事が可能
- 販促ツールとして使える

エコツーリズム認証システム

- 認証システムが世界の各国にライセンス供与開始
- 今年の6月に最初の国として、イスラエルがこの認証システムを稼動
- 現在、日本も認証システム導入を、日本エコツーリズム協会を通して動いている。

事例② エコツーリズム・研修プログラム

- オーストラリアを基点としている現地エコツアーオペレーターが開発
- エコツーリズムの時流に対応すべき、スペシャリスト養成講座
- エコツーリズムを体系的に、豊富なワークショップ・研修・視察を取り入れながら学ぶ

オーストラリア・ エコツーリズムの現状まとめ1

- エコツーリズムは、ツーリズムの中でも重要位置づけである
- エコツーリズムの認識が高く、海外からの旅行者もエコツーリズムが目的で来る人が多い
- エコツーリズムはすでに成熟市場としてみており、ビジネスモデルが確立されつつある。しかしながら、自然保護と利益の追求の両立は難しい。
- 今後は、オーストラリアから日本にエコツーリズム体験を目的とした旅行者が増える可能性大

オーストラリア・ エコツーリズムの現状まとめ2

以下の点で、オーストラリアの協力が必要

- エコツーリズムのスタンダード化（認証システム等）
- エコツーリズム・スペシャリストの教育・育成



- オーストラリアから日本へのエコツーリズム参加者を増やす事が可能